



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 タダノ

上場取引所 東

コード番号 6395 URL <http://www.tadano.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田野 宏一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理部部長 (氏名) 橋倉 荘六 TEL 087-839-5600

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	125,766	33.6	14,493	89.1	15,425	98.4	10,401	108.7
25年3月期第3四半期	94,119	25.5	7,663	128.9	7,776	178.5	4,984	292.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 13,450百万円 (191.2%) 25年3月期第3四半期 4,619百万円 (498.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	82.05	—
25年3月期第3四半期	39.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	196,010	97,951	49.6
25年3月期	177,611	86,674	48.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 97,175百万円 25年3月期 85,879百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
26年3月期	—	9.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	29.8	19,200	75.7	18,700	63.3	12,000	63.5	94.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	129,500,355 株	25年3月期	129,500,355 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,766,984 株	25年3月期	2,701,046 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	126,778,992 株	25年3月期3Q	126,941,171 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1.当四半期決算に関する定性的情報

### (1)連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費が増加し、生産の増加や企業収益の改善に加え、設備投資も持ち直し、景気は着実に回復しております。米国経済は緩やかな回復、欧州経済は持ち直しの兆し、新興国の一部には減速の動きが見られております。

私どもの業界は、国内では復旧復興・防災減災・インフラ老朽化対策等による稼働率上昇、東京オリンピック招致決定によるマインドの改善が買い替えや新規需要を喚起し、海外では地域的な需要のばらつきはあるものの、エネルギー・インフラ関連を中心に北米・中東・東南アジア等で需要が増加しました。

国内売上高は、建設用クレーン・車両搭載型クレーン・高所作業車が揃って増加し、555億8千9百万円（前年同期比121.1%）となり、海外売上高は、地域的な需要のばらつきはあるものの、エネルギー・インフラ関連需要の増大に加え、円安による競争力改善等を背景に増加し、701億7千7百万円（前年同期比145.5%）となりました。この結果、総売上高は、1,257億6千6百万円（前年同期比133.6%）となりました。なお、海外売上高比率は、55.8%となりました。

経常利益につきましては、売上増加、販売価格適正化や円安効果、操業度改善、原価低減等による粗利増加に加え、為替差益10億9千2百万円の計上もあり、154億2千5百万円（前年同期比198.4%）となりました。四半期純利益につきましては、104億1百万円（前年同期比208.7%）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

#### 1) 日本

建設用クレーン・車両搭載型クレーン・高所作業車の売上が揃って増加し、売上高は984億4百万円（前年同期比126.3%）となり、営業利益は126億1千9百万円（前年同期比243.5%）となりました。

#### 2) 欧州

建設用クレーンの売上が製品の大型化とシェアアップにより欧州域内・域外共に増加し、売上高は300億1千万円（前年同期比155.2%）となり、営業利益は10億6千9百万円（前年同期比159.2%）となりました。

#### 3) 米州

建設用クレーンの売上増加により、売上高は226億1千7百万円（前年同期比132.3%）となり、営業利益は18億9千6百万円（前年同期比131.4%）となりました。

#### 4) その他

建設用クレーンの売上増加により、売上高は123億6百万円（前年同期比140.2%）となり、営業利益は6億6千9百万円（前年同期比115.3%）となりました。

主要品目別の状況は次のとおりです。

#### 1) 建設用クレーン

国内売上につきましては、需要が増加する中、新排出ガス規制対応製品の拡販に注力し、223億3百万円（前年同期比142.9%）となりました。

海外売上につきましては、地域的な需要のばらつきはあるものの、エネルギー・インフラ関連需要の増大に加え、円安による競争力改善等を背景に、598億8千万円（前年同期比152.8%）となりました。

この結果、建設用クレーンの売上高は、821億8千3百万円（前年同期比150.0%）となりました。

2) 車両搭載型クレーン

国内売上につきましては、トラック需要の増加と搭載率が高水準で推移したことにより、121億9千5百万円（前年同期比121.0%）となりました。

海外売上につきましては、11億1百万円（前年同期比109.9%）となりました。

この結果、車両搭載型クレーンの売上高は、132億9千6百万円（前年同期比120.0%）となりました。

3) 高所作業車

電力電気向け需要は低水準であったものの、設備投資意欲が旺盛なレンタル業界向け需要を背景に、高所作業車の売上高は、95億8千8百万円（前年同期比108.7%）となりました。

4) その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は、206億9千7百万円（前年同期比106.6%）となりました。

**(2)連結財政状態に関する定性的情報**

資産、負債及び純資産の状況に関する分析

(資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末に比べ183億9千9百万円増加の1,960億1千万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少28億1千2百万円があったものの、現金及び預金の増加89億6千5百万円やたな卸資産の増加95億6千9百万円に加え、有形固定資産の増加15億6百万円があったことによるものです。

(負債の状況)

負債は、前連結会計年度末に比べ71億2千2百万円増加の980億5千9百万円となりました。主な要因は、有利子負債の減少27億4千7百万円や流動負債その他の減少24億1千3百万円があったものの、支払手形及び買掛金の増加87億2千7百万円や未払法人税等の増加31億2千万円があったことによるものです。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末に比べ112億7千7百万円増加の979億5千1百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加83億7千3百万円や為替換算調整勘定の増加25億9千4百万円があったことによるものです。

**(3)連結業績予想に関する定性的情報**

平成25年10月29日付けの業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,582	48,547
受取手形及び売掛金	40,820	38,008
商品及び製品	23,233	29,301
仕掛品	13,350	14,968
原材料及び貯蔵品	8,758	10,641
繰延税金資産	2,872	3,756
その他	4,302	4,386
貸倒引当金	△774	△709
流動資産合計	132,144	148,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,762	10,232
機械装置及び運搬具(純額)	2,610	2,853
土地	20,135	20,378
リース資産(純額)	334	318
建設仮勘定	458	701
その他(純額)	1,283	1,606
有形固定資産合計	34,584	36,091
無形固定資産	776	837
投資その他の資産		
投資有価証券	6,577	7,227
繰延税金資産	1,037	616
その他	2,875	3,218
貸倒引当金	△385	△881
投資その他の資産合計	10,105	10,181
固定資産合計	45,466	47,110
資産合計	177,611	196,010

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,094	39,821
短期借入金	15,454	5,940
リース債務	208	189
未払法人税等	2,008	5,129
引当金	1,415	1,663
未払金	3,635	3,644
割賦利益繰延	193	134
その他	5,993	3,580
流動負債合計	60,005	60,103
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	2,677	9,504
リース債務	365	324
繰延税金負債	165	166
再評価に係る繰延税金負債	2,455	2,455
退職給付引当金	4,736	4,966
その他	531	537
固定負債合計	30,931	37,955
負債合計	90,937	98,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,021	13,021
資本剰余金	16,846	16,847
利益剰余金	61,272	69,645
自己株式	△2,383	△2,474
株主資本合計	88,757	97,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,445	1,863
土地再評価差額金	294	294
為替換算調整勘定	△4,618	△2,024
その他の包括利益累計額合計	△2,878	134
少数株主持分	794	775
純資産合計	86,674	97,951
負債純資産合計	177,611	196,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	94,119	125,766
売上原価	70,437	91,337
割賦販売利益繰延前売上総利益	23,682	34,429
割賦販売未実現利益戻入額	185	128
割賦販売未実現利益繰入額	55	68
売上総利益	23,811	34,488
販売費及び一般管理費	16,148	19,995
営業利益	7,663	14,493
営業外収益		
受取利息	61	78
割賦販売受取利息	50	27
受取配当金	126	126
為替差益	420	1,092
その他	204	127
営業外収益合計	863	1,451
営業外費用		
支払利息	416	401
貸倒引当金繰入額	209	—
その他	125	118
営業外費用合計	750	519
経常利益	7,776	15,425
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産除売却損	46	114
会員権評価損	3	—
特別損失合計	49	114
税金等調整前四半期純利益	7,728	15,313
法人税、住民税及び事業税	1,697	5,551
法人税等調整額	1,091	△610
法人税等合計	2,788	4,940
少数株主損益調整前四半期純利益	4,939	10,372
少数株主損失(△)	△44	△29
四半期純利益	4,984	10,401

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,939	10,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△217	418
為替換算調整勘定	△102	2,659
その他の包括利益合計	△319	3,077
四半期包括利益	4,619	13,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,665	13,415
少数株主に係る四半期包括利益	△45	35

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等  
(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合 計	調 整 額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日 本	欧 州	米 州	計				
売 上 高								
外部顧客への売上高	56,972	11,692	16,857	85,522	8,596	94,119	—	94,119
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,923	7,639	241	28,804	180	28,984	△28,984	—
計	77,896	19,332	17,098	114,327	8,776	123,104	△28,984	94,119
セグメント利益	5,183	671	1,443	7,298	580	7,879	△215	7,663

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア及びオセアニア等の現地法人の事業活動を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額には、主なものとして、セグメント間未実現利益調整額△219百万円が含まれております。  
3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合 計	調 整 額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日 本	欧 州	米 州	計				
売 上 高								
外部顧客への売上高	73,736	17,419	22,536	113,692	12,074	125,766	—	125,766
セグメント間の内部売上高又は振替高	24,668	12,590	80	37,339	232	37,572	△37,572	—
計	98,404	30,010	22,617	151,032	12,306	163,338	△37,572	125,766
セグメント利益	12,619	1,069	1,896	15,585	669	16,254	△1,761	14,493

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア及びオセアニア等の現地法人の事業活動を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額には、主なものとして、セグメント間未実現利益調整額△1,795百万円が含まれております。  
3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。